2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会参画実習1（Practice in Social Participation 1）		
ナンバリングコード	A10202	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル
単位数	1	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修･選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A031068	クラス名	－
担当教員名	竹田　隆行		
履修上の注意、 履修条件	人間力の育成、地方創生の理解、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。担任制の授業です。成果発表会には必ず出席して下さい。正当な理由がなく欠席した場合は、単位認定されないことがあります。 ・人間力を養う上で大切な授業となりますので、無遅刻･無欠席で受講して下さい。 ・ワークショップ時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加して下さい。受け身の姿勢では意味がありません。		
教科書	知へのステップ　第5版－大学生からのスタディ･スキルズ－ （くろしお出版）学習技術研究会　編著 ※ 前期使用教科書		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	社会参画入門、社会参画応用、社会参画実習2、人間力概論ほか、すべての科目		

○基本情報		
授業の目的	社会や企業では、様々な価値観･キャリアを持った人々が連携･協力、意見を交わしながら、仕事を進めたり、問題解決したりするのが通常です。本実習では、チーム活動を行い、社会･地域で必要な人間力、社会人基礎力（特にチームで働く力の基礎）＝ジェネリックスキルの向上を図ることを目的に、地方自治体（大分県、大分市）の身近な政策課題に対してチームで課題の整理や根拠のある提案などに取り組みます。本実習を通じて、人間関係形成能力を確固たるものにしていきます。	
授業の概要	効果的にジェネリックスキル（コンピテンシー能力、リテラシー能力）を高めるため、ワークショップを8回実施(発表等を含む)します。 ここでは、地方創生をテーマに、提示された地方自治体の政策から興味のある政策を選択し、自分たち若者が政策により関わっていくための具体的な提案をチームで行います。活動を通じた他人との関わりによってコミュニケーション能力を向上させたり、ワークショップをスムーズに進めるための役割分担や時間管理による規律性などを向上し、コンピテンシー能力の向上を図ります。また、自治体の政策や若者の関わりについて、現地調査や図書館･インターネットでの情報収集、情報分析を行い、政策提案する前提となる課題を発見します。その上で実行可能な提案を考え、それを企画書及び最終発表によるプレゼンテーションにつなげリテラシー能力の向上を図ります。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「実験実習形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ･ラーニング	「PBL（課題解決型学習）」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験･中間確	提出物（レポート･作品等）	無形成果（発表･その他）
【関心･意欲･態度】	①地域への関心：地方自治体の身近な政策に関心を持ち、自分事にできる。 ②チーム活動：チーム活動に取り組むことができ（主体性）、自分の役割を果たすことができる （情況把握力）。		10点	20点
【知識･理解】	①情報分析力：収集した情報を分析し、必要な知識を抽出し、理解できる。		5点	
【技能･表現･ コミュニケーション】	①コミュニケーション力：チームのメンバーと話し、自分の意見を理解してもらうことができる（発信力）。また、相手の話や意見を聴くことができる（傾聴力）。 ②プレゼンテーション力（情報スキル、発信力）：自分の責任		20点	15点
【思考･判断･創造】	①情報収集力：インターネット等を用いて情報を収集できる。 ②課題発見力：収集した情報を分析し、テーマの問題点や課題を見つけることができる。 ③文章力：自分の責任範囲の成果が記述できる。		30点	

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験･レポート等の学習成果･課題のフィードバック方法）
･学修ポートフォリオ【評価シート（事前･事後）、活動記録シート】の書き込み状況を到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します。(40点) ･最終成果発表会のパワーポイント資料、企画書を到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します。(チーム評価＆個人評価で25点) ※評価レベル毎の到達目標基準(ルーブリック)は、授業内で配付する本科目の「学修ポートフォリオ」を参照して下さい。 ･最終成果発表会のプレゼンテーションを到達目標基準(ルーブリック)に基づき評価します（チーム評価＆個人評価で10点）。 ･授業に欠席したり遅刻･早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。（15点）

○その他
ワークショップでは、成果物としてチームで企画書（レジュメ）の提出と最終の口頭発表を求めます。企画書作成方法など不明な点は、授業時間外でも都合の良い時間に遠慮なく質問して下さい。また、授業時間外の企画書･パワーポイント作成、ワークショップなどは、人間力育成センター多目的ルーム(1号館1階)やアクティブラーニング室(4号館1階)などの学内施設を活用して下さい。 都合により、授業の順序、進度が異なる場合があります。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	社会参画実習1（Practice in Social Participation 1）	授業コード	A031068
	担当教員	竹田　隆行		

学修内容

1. 担任授業（1） ■ガイダンス　■担任活動　■履修再指導		
予習	シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。履修登録内容の確認。	（約2.0h）
復習	履修登録の確定	（約1.0h）
2. 担任授業（2） ■プレゼンテーションの基本スキル		
予習	教科書第11章の予習	（約1.0h）
復習	教科書第11章の復習	（約1.0h）
3. 担任授業（3） ■わかりやすいプレゼンテーションのために		
予習	教科書第12章の予習	（約1.0h）
復習	教科書第12章の復習	（約1.0h）
4. ワークショップの概要説明 ■地方自治体（大分市等）の政策　■ワークショップの概要　■課題テーマ出題		
予習	大分市・県の政策課題を調べる	（約1.0h）
復習	配付資料の復習	（約1.0h）
5. 担任授業（4） ■テーマ選択　■班編成　■事前評価シート記入　■情報収集方針の確認		
予習	情報収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
6. ワークショップ（1） ■情報共有　■活動方針決定　■役割分担の決定		
予習	情報の整理及び追加収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
7. 大分県・市出張講義 ■出張講義の受講		
予習	情報の分析及び追加収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
8.　ワークショップ（2） ■フィールドワーク（情報収集）		
予習	情報の分析及び追加収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）

○授業計画	科 目 名	社会参画実習1（Practice in Social Participation 1）	授業コード	A031068
	担当教員	竹田　隆行		

学修内容

9. ワークショップ（4） ■情報分析・課題発見　■企画アイデア整理　■中間報告		
予習	企画の整理及び追加情報収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
10. ワークショップ（5） ■企画の方向性の決定　■情報再分析・課題整理　■企画書の作成　■口頭発表準備(パワーポイントの作成)		
予習	企画書・パワーポイントの作成	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
11. ワークショップ（6） ■企画書の作成・提出　■口頭発表準備(パワーポイントの作成・発表練習)		
予習	パワーポイントの作成、発表練習	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
12. 成果発表会 ■全チームによる成果発表会　■代表チームの選出		
予習	発表練習	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
13. 全体成果発表会【全体授業】 ■代表チームによる発表		
予習	発表内容の修正、発表練習(代表チーム)	（約2.0h）
復習		
14. プレースメントテスト ■プレースメントテスト　■社会人基礎力自己評価		
予習		
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
15. 担任授業（5） ■振り返り　■振り返りシートの記入　■面談　■受講アンケート		
予習		
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
16.		
予習		
復習		